

横山ゆずり作 「あなたを変える愛」

(効果音) (教室のガヤ)

女子 A ねえ ねえ ちょっと、知ってたぁ？ 女優の石原江利子がまたフォーカスされたんだって！

女子 B えー、ウッソー！ だれよ、相手は？

女子 A それがなんと、この前の映画で共演した石田賢だって！

女子 B えー！ やったぁ！ あたし、ファンなのに。

男子 何々？ だれとだれがデキてるんだって？

女子 A もう、ヤラしい言い方しないでよ。なんでも、石田賢が彼女のマンションから出てきたところを、撮られちゃったらしいよ。

女子 B 石田賢って、確か結婚してたよねえ？

女子 A そ。だから不倫よ、プリン。奥さん、かわいそう。

男子 でもさ、石田江利子みたいな美人が相手だったら、不倫だってしちゃうよな、男ならだれでも。

女子 B やーね、男って勝手に。大体ね、あんたが不倫だなんて 10 年早いわよ！ ね、あゆみ。...あゆみ？ ちょっと、聞いてんの？

大村あゆみ え？ うん。...なんの話だっけ？

女子 B もー。何ポーっとしてんのよ。ヘンなやつ。何かあったの？

あゆみ ううん、別に。

(効果音) (終業のチャイム)

あゆみナレーション わたし、大村あゆみ。青春高校 2 年生。世間では、女子高生ブームとか言っちゃって、どうってことない顔の子たちが、セーラー服着てテレビに出て、超アイドルしちゃってる。わたしだって、花のセブンティーン。青春真ただ中...と言いたいとこだけど、現実はそのなりに明るくないって。はっきし言って、今、目いっぱい落ち込んでる。その訳は...

(効果音) (喫茶店の中)

岩田拓也 よ、待った？ 悪い。部活が長引きちゃってさ。

あゆみ ううん、平気。それより、ユッコのこと、大丈夫だった？ なんか待ってたみたいだったけど。

拓也 うん、「部会で遅くなるから」って、先に帰らしたよ。

あゆみ なんか、かわいそうみたい。

拓也 だって、しょうがねえじゃん。なんだよ、今更。

あゆみ 分かってるけど...

ナレーション そう。わたしの落ち込みの原因は、この彼、岩田拓也。彼って言っても、付き合

ってることはだれにも内緒。だって岩田君は、親友のユッコの彼氏だったんだから。ユッコはまだ気づいてないみたい。わたしだって、まさか親友の彼氏取ろうなんて、思ってもいなかった。それが、この間…。

(音楽) (ブリッジ)
生徒たち (口々に)「お疲れ様」「じゃあな」etc.
ナレーション 岩田君たちにサッカー部の試合があった日、マネージャーのわたしも、みんなと付き合っただけだった。
男子 おーい、暗いから女子は気をつけて帰れよ。
拓也 マネージャー、おれ、同じ方向だから送ってくよ。
あゆみ えー、岩田君が？ なんか、ユッコに悪いなあ。
拓也 いいって いいって。
男子 あー、あゆみ先輩。気づいたほうがいいですよ。(からかうように)岩田先輩はアブないんだから。
拓也 うるせえな。バカ。
ナレーション 岩田君は、ほんとにアブないやつだった。暗い道では、肩に手をかけてくるし、「本当はユッコよりも好きだった」なんて、マジな顔して言うもんだから、わたしも、なんか前から少しは好きだったような気がしてきて、なんとなく付き合いだしたってわけ。岩田君は、「ユッコとは別れる」って言ってるし、わたしも初めは、「ワイー、彼氏ができた」とか思ってたけど、でも、これでいいのかな。男の子と付き合うって、こんなもんかなあ。
拓也 あゆみ、来週の日曜日、おれんちに来ないか？
あゆみ え、岩田君のうちに？ 家族に紹介してくれるの？
拓也 違うって。その日はちょうど、おやじもおふくろも出かけて、だれもいなくなるんだ。だから、な、来いよ。
あゆみ え、留守の時に？ 悪いよ。
拓也 平気だって。いいじゃん。な、な？
(効果音) (玄関の戸を開ける音)
あゆみ ただいま。
母 あ、お帰り。遅かったわねえ。
あゆみ うん。ちょっと友達とおしゃべりしてたから。
母 そう。さっき、ユッコさんから電話があったわよ。何か話がありそうだったけど。あ、それと、これ、手紙が来てたわよ。
あゆみ ふーん、だれかな。希望が丘キリスト教会、へえ、懐かしいな。
母 そう言えば、中学の時までは、毎週よく行ってたわねえ。まだ覚えてくれたのね。
あゆみ(モノローグ) なんだろう。

(効果音)

(封筒を開く音)

あゆみ(モノローグ)「秋の特別伝道集会」…。そう言えば、毎年こういうの、やってたっけ。「あなたを変える愛」。“愛”かぁ…。いつだろ。えっと、今度の日曜日か。あ、今度の日曜…。岩田君に誘われてたんだっけ。でも…。

拓也

(エコー)だれもいなくなるからさ。来いよ。な、いいじゃん。

あゆみ(モノローグ)もし、日曜に行ったらどうなるんだろう、わたしたち。行ったら…。たぶん…。クラスの中でも、「愛していれば、“C”まで行って当然」って言う子もいるけど、でも岩田君は、わたしのこと、愛してるのかな。そして、わたしは？ “好き”って思うときもあるけど、「愛か」って言われると、イマイチ違うような気がする。でも、断ったら、彼、怒るだろうな。怒って、ユッコのほうに戻っちゃうかもしれない。そんなのイヤだ。どうしよう…。

(効果音)

(教室のガヤ)

西村友紀子

あゆみ、おはよう。

あゆみ

あ、ユッコ…。お、おはよう。

友紀子

何よ、人の顔見て、そんなにビックリしないでよ。

あゆみ

あ、ごめん。あ、昨日、電話くれたんだって？ ごめんね。

友紀子

うん。最近、あゆみ忙しそうで、あんまり話もできないからさ。

あゆみ

あ、ごめんね。部活のほうでいろいろあって…。(口ごもる)

友紀子

ヤだ。そんなに謝ることないのに。サッカー部のほうも、今、大変なんでしょ？

あゆみ

え？ユッコ、なんで知ってるの？

友紀子

だって、拓也からよく聞くもん。ゆうべも電話がかかってきたけど、もうサッカーの話ばっか。新しいユニホームがどうかこうとかって。…あゆみ、どうかしたの？

あゆみ

え？ ううん、なんでも。そっか、結構うまくやってるんだ。ふーん。

友紀子

え？

あゆみ

こっちのこと。それで今、岩田君とはどの辺まで行ってんの？ 彼、割と手が早そうだし。案外もう“C”とか？

友紀子

ヤだ。あゆみ、ヘンなこと言わないでよ。そりゃ、Aくらいは。でも彼は、わたしのこと大切にするって言ってくれてるんだ。男の子って、本当に好きな子には、かえってなんにもできないもんなんだって。

あゆみ(モノローグ)なんですって？ あいつ、人には調子いいこと言っというて、何よ。本当に好きな子は大切にするって？ じゃ、わたしはなんだって言うの？ ユッコの代わり？ ただの遊びだったの？ ひどい、そんなの**ゆる**赦せない！

ナレーション

その時のわたしの気持ち、なんて言ったらいいんだろう。“悲しい”というより、なんか情けなかった。遊ばれてるとも知らないで、いい気になってた自分にも腹が立った。なんか急に心が冷めていくような感じがした。

(音楽) (ブリッジ)
ナレーション そして日曜日 came。寢床の中で、一瞬、だれもない岩田君の部屋で、彼に抱かれている自分を想像した。よっぽど彼に会って、本当の気持ちを問いただしたかった。でも、なぜだか知らないけど、結局、無性に教会に行ってみたい気持ちに勝てなくて、久しぶりに、本当に久しぶりに教会に向かったのだった。

(音楽) (賛美歌)
牧師 皆さん、今日わたしは、“愛”についてお話ししようと思います。愛とはなんでしょうか？ ある時、牧師がこう説教しました。「皆さん、神様は愛ですよ」。そうしたら、それを聞いたおばあさんが、「まあ、イヤらしい」と言ったそうなんですな(笑い)。わたしたちも、愛と言うと、すぐに男女の恋愛を考えやすいのではないのでしょうか。特に、若い人たちにとっては、それがすべてに感じられるときもあるでしょう。確かに恋愛は、ひとつのすばらしい愛の形です。しかしその感情は、非常に移ろいやすいのです。

ナレーション 牧師先生の話聞きながら、わたしは、自分と岩田君のことを思い浮かべていた。口ではうまいこと言っておいて、わたしの心をもてあそんでいたあいつ。絶対に赦せない！ でも、あたしはどうだったんだろう？ 「後ろめたいとは何も無い」って言える？

牧師 聖書には、こう書いてあります。「愛は寛容であり、愛は親切です。また、人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。…」(第1コリント 13 章)愛とは、口先だけの言葉ではありません。愛とは、愛すること、つまり行動で示すことなのです。でも皆さん、誤解しないでください。わたしたちは、特に若い方々は、“愛の行動”なんて言うと、すぐにセックスと結び付けて考えたがる。そうじゃないんです。皆さん、“愛”という字を思い浮かべてみてください。“受ける”という字と似てますね？ そして真ん中に、“心”が入る。つまり愛とは、相手の心を受け入れることなんですな。欠点も弱さも含めた、ありのままの相手を。“愛”というのは、全人格的なものなんですよ。

あゆみ(モノローグ) “相手の心を受け入れる”…。わたしの岩田君への気持ちって、なんだったんだろう？ ただ男の子と付き合っ、いっしょに遊んだり、手をつないで歩いたり、時にはそれ以上のことも…なんて。そのために親友を裏切って平気だった。ううん、本当は、岩田君じゃなくても、ちょっとカッコいい子なら、だれでもよかったのかもしれない。考えてみれば、わたしだっていい加減なやつだよな。

ナレーション 牧師先生の話聞くうちに、なんだか、今の自分が、すごく幼稚っぽく思えてきた。愛って、もっと、何か深い、簡単に口にしちゃいけないものじゃないかな。そんなふうに思えてきた。

牧師 …「そんなこと、聖人君子じゃあるまいし」、とお思いになりますか？ 確かに、

人の力ではできません。しかし、この愛のお手本を、身をもって示して下さった方がいるのです。それは、イエス・キリストです。(F0)

ナレーション

“そんな愛って、どこから来るんだろ？”“どうしたら、そんなふうに人を愛せるんだろ？”その時わたしは、この問いの答えを探し求めたいという、モーレツな衝動を心のうちに感じていた。それは、あのイエスというお方との、本当の出会いの予感でもあった。

<完>